

授業科目	*ソーシャルワークの基盤と専門職				単位	2		
履修	必修	関連資格	社会福祉士 精神保健福祉士 保育士		ナンバリング	WE11205J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2			
担当教員	今村 浩司							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>現代社会の福祉ニーズは、多様化する社会と変化の激しい時代の中で、複雑化しているのが現状となっています。それに対応する福祉専門職(ソーシャルワーカー)である社会福祉士や精神保健福祉士等は、幅広い視野と多面的な視点等の確かな力が求められています。</p> <p>そこで本講では、医療機関においてソーシャルワークの実践活動を展開してきた実務家教員として、まず社会福祉専門職の現状について解説していきます。そして、総合的かつ包括的な相談援助(ソーシャルワーク)の理念と方法に関する知識と技術として、特に相談援助(ソーシャルワーク)に関連する基本的な部分の理念、概念、定義、意義等を解説し、1年後期に開講する「ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)」につなぎます。さらには、よりリアリティ感を高めるため、社会福祉士専門職団体等から外部講師を招聘して、社会福祉専門職の現状と魅力を伝えてもらう予定です。</p> <p>本講の理解度を確認するために、講義内において、確認テスト(小テスト)を行います。</p> <p>なお、授業の運営方法については、対面講義が困難な場合等は、ウェブ等を使用する講義等に変更して実施することもあります。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会福祉士、精神保健福祉士の役割と意義について理解し説明できる。</li> <li>2. 相談援助の概念と範囲について理解し説明できる。</li> <li>3. 相談援助の理念と権利擁護の意義と範囲について理解し説明できる。</li> <li>4. 相談援助に係る専門職と専門職倫理について理解し説明できる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	20	10	0	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)	20	5					25	
知識・理解 (DP1-2)	20	5					25	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	5	5	5				15	
思考・判断 (DP2-2)	5	5	5				15	
関心・意欲 (DP3-1)						5	5	
関心・意欲 (DP3-2)						5	5	
態度(DP4-1)						5	5	
態度(DP4-2)						5	5	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1. 社会福祉士、精神保健福祉士の役割と意義について、理解したうえで説明できる。 2. 相談援助に係る専門職と専門職倫理について、理解したうえで説明できる。				1. 社会福祉士、精神保健福祉士の役割と意義について、説明できる。 2. 相談援助に係る専門職と専門職倫理について、説明できる。				

3. 総合的かつ包括的な援助と多職種連携について、理解したうえで説明できる。		3. 総合的かつ包括的な援助と多職種連携について、説明できる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	社会福祉の対象者と専門職① 資料を用いて、現代社会における課題を意識化する。	講義	講義範囲のテキスト事前通読	30分
2	社会福祉の対象者と専門職② 現代社会における課題および地域での取り組みについて解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
3	社会福祉の対象者と専門職③ 現代社会の状況について事例等を用いて解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
4	社会福祉士・精神保健福祉士の役割と意義 社会福祉士及び精神保健福祉士法について解説する。社会福祉士および精神保健福祉士の役割と意義について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
5	相談援助(ソーシャルワーク)の概念と範囲① ソーシャルワークに係る各種の国際定義について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
6	相談援助(ソーシャルワーク)の概念と範囲② ソーシャルワークの構成要素について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
7	相談援助(ソーシャルワーク)の概念と範囲③ ソーシャルワークの形成過程(ソーシャルワークの源流)について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
8	相談援助(ソーシャルワーク)の概念と範囲④ ソーシャルワークの形成過程(ソーシャルワークの基礎確立期)について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
9	相談援助(ソーシャルワーク)の概念と範囲⑤ ソーシャルワークの形成過程(ソーシャルワークの発展期)について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
10	相談援助(ソーシャルワーク)の概念と範囲⑥ ソーシャルワークの形成過程(ソーシャルワークの展開期)について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
11	相談援助(ソーシャルワーク)の概念と範囲⑦ ソーシャルワークの形成過程(ソーシャルワークの統合化とジェネラリスト・ソーシャルワーク)について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
12	相談援助(ソーシャルワーク)の理念①(外部講師) ソーシャルワーカーと価値について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
13	相談援助(ソーシャルワーク)の理念②(外部講師) 人権尊重と社会正義について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
14	総まとめ	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
15				
16				

17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	社会福祉士や精神保健福祉士の社会福祉専門職の具体的なイメージを深めるために、公益社団法人日本社会福祉士会や、公益社団法人日本精神保健福祉士協会のウェブサイトをあらかじめ閲覧しておいてください。			
テキスト	社会福祉士・精神保健福祉士のカリキュラム改正のため教科書選定中(初講時に説明します) 「コメディカルのための社会福祉概論」(第4版) 鬼崎信義、本郷秀和編 講談社			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	本学図書館の担当教員(今村)の指定図書。 月刊福祉や福祉新聞など。 講義の進行状況に応じて、適時紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	社会福祉専門職の役割や業務は、計り知れないほど奥が深いものです。まずは、社会福祉士や精神保健福祉士等の、「社会福祉専門職になる」という、何よりも強い心構えを持って講義に臨んでください。 授業で学んだ内容については、ノート等を活用して整理して下さい。また、毎回講義の導入部分で、社会福祉に関するトピックスを提供しますので、新聞やインターネット、文献等を用いて必ず理解を深めて下さい。			
達成度評価に関するコメント	試験、小テスト、レポート、講義貢献度にて評価します。その他については、具体的な実践場面を想定した実技指導(ロールプレイ等)やグループワークの内容、積極性や参加意欲も併せて評価します。			

